2月の幼稚園

明けない夜はない！そう自然に言い聞かせながら、冬の朝の空気を思いきり吸い込む。

『きゃ、今日も頑張れ！』オレンジの朝日が私の背中を押してくれた。

コロナ禍での生活も丸2年、我慢の強いられる毎日の中で、子どもの健康を守る事と、幼稚園のあるべき姿の実現との矛盾に悩みながら、でも迷う暇もなく過ごす時間。どんな時でも元気いっぱいの子どもたちと、前向きで明るい先生方が、幼稚園の大切な時間を守ってくれています。

永遠に続くかと思うような寒さの中で、力強く　芽吹いた「春」。また季節が変わります。

2月のコラム

すべてが表面を流れてゆかないで
しみたり　こおったり　ゆっくりとけたりすることが
わたしたちの世界では大切
ただまわることだけではなく
そんな濃淡をつけてまわることがたいせつ
そんな濃淡を　幼い人と
泣いたり　笑ったりしながら
分かち合って　ゆくこともたいせつ　　小西　貴士